

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年4月1日
観測部
地球環境・海洋部

3月の天候

2020年（令和2年）3月の日本の天候は、北・東・西日本では、気温がかなり高くなりました。降水量は、北日本太平洋側でかなり多くなりました。北・西日本と東日本日本海側では、日照時間が多くなりました。

2020年（令和2年）3月の天候の特徴は以下のとおりです。

○北・東・西日本では、気温がかなり高くなりました
北・東・西日本では、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温がかなり高くなりました。北日本では、3月としては1946年以降で1位の高温となりました。

○降水量は、北日本太平洋側でかなり多くなりました
低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、降水量は北日本太平洋側でかなり多く、北・西日本日本海側と東日本太平洋側、沖縄・奄美で多くなりました。

○北・西日本と東日本日本海側は、日照時間が多くなりました
北・西日本と東日本日本海側では、高気圧に覆われやすかったため、日照時間は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:483KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202003_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 楳田(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406